

第39回呉建築セミナー 人間の波打ちぎわ「からまり」と「響き」

呉支部 篠部 裕

2024年12月5日(水)18時~20時、呉市のつばき会館4階音楽ホールにおいて、第39回呉建築セミナーが開催された。講師には建築家の平田晃久先生((株)平田晃久建築設計事務所主宰、京都大学教授)をお迎えした。講演会の参加者は約160名で、中には岡山県からの学生の参加もあり、地元広島県内の学生を含め会場は多くの若者の熱気に包まれていた。



実は今回のセミナーに先駆け2024年7月~9月に、東京の練馬区立美術館で「平田晃久/人間の波打ちぎわ」という建築の展示会が開催された。私は8月下旬に東京で開催された日本建築学会全



国大会の際に、この展示会を見学する機会を得た。建築家の展示会は、建築設計図面・模型・写真などを中心に展示されるのが一般的である。この展示会も同様な展示構成がなされていたが、特筆すべきは設計者である平田先生自らが、展示室毎に建築設計のプロセスやコンセプトを解説する動画が用意されていた点であった。「人間の波打ちぎわ」とは、個々の空間の周囲に派生する空間領域をさし、そこで様々な人間の身体と意識が錯綜することで、多様な空間や生活行為の創出を意図している。

講演会の導入では蝶が植物に絡まりながら動く写真を例にこの概念が説明され、講演では「人と人」「内と外」「建築と植物」「昔と今」など、人間の波打ちぎわの具体的な設計事例が紹介された。ここではセミナーで取り上げられた建築の中から特に印象に残った建築を例に、その概要を報告したい。

太田市美術館・図書館

本建築は、2022年の日本建築学会作品賞の受賞建築である。設計プロセスに市民を巻き込む市民参加の公共建築の設計事例であるが、市民の主体性を尊重しながらも、決して予定調和に終わることを想定しない、チャレンジングな取り組みである。5か月という短期間、しかも市民参加で設計をまとめ上げるには膨大なエネルギーを必要と

するが、当初の思いを貫徹し、地方都市の駅前空間の再整備や公共建築のあり方に一石を投じた秀作といえる。

台湾大学100周年記念館

当初は台湾大学構内に分散する博物館を、一カ所に統合するプロジェクトで、コンペ当選案は自然の地形を模したかのように見える帯状の空間がセットバックする人工の丘ともいべき外観であった。内部には各学部に関係する様々な展示室が点在し、その周辺に「からまり」や「響き」が生まれる仕掛けとなっている。残念ながらその後の学長の交代により、このプロジェクトは規模や内容が大幅に変更・縮小されることになった。その後の設計では、人間とAIの対話による新しい設計手法が試みられている点が注目される。



小千谷市コンプレックス

計画敷地の場所性や周辺地域との関係性を読み解きながら、越後三山を眺望する図書館閲覧室と屋上デッキがこの建築の要となっている。また、閲覧室に可動式の書架を配置することにより異なるジャンルの図書が出合い、書架の周囲に多様な「からまりしろ」を創り出すという実験的な試みが見られる。図書館の開架式閲覧室の新たな可能性を感じさせる設計である。

講演後の質疑応答では、参加者から活発な質問があった。学生の拙い質問に対して一つ一つ丁寧に回答頂いた姿に、まさにプロフェッサー・アーキテクトとしての一面を見ることができた。来年、呉建築セミナーは第40回の節目を迎える。来年も満員の来場者とともに建築セミナーが開催されることを期待している。



MONTHLY 建築士
No.199

IROSHIMA



表紙写真について

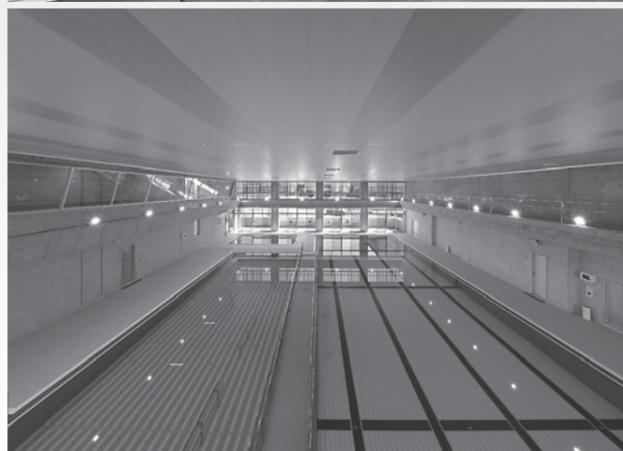
中区スポーツセンター 吉島屋内プール

- 設計・監理／株式会社K構造研究所
- 施工／建築：河井建設工業株式会社
電気設備：高野電気商会株式会社
冷暖房・衛生設備：株式会社三晃空調中国支店
エレベーター機械設備：日本オーチス・エレベーター株式会社中国支店
- 所在地／広島市中区南吉島一丁目
- 用途／屋内プール
- 構造規模／鉄筋コンクリート造 2階建て
- 敷地面積／2,051.04㎡
- 建築面積／1,229.42㎡
- 延べ面積／1,579.88㎡
- 竣工日／2022年8月21日

本施設は、昭和51年に整備された旧施設の老朽化に伴い、南へ約400mの場所に位置する旧中環事業所跡地へ移転・再整備を行ったものである。計画にあたっては、地域住民との意見交換を重ねながら施設の機能を検討し、多世代・多目的の利用を可能とする地域固有の屋内温水プールとすることを目標とした。

1階のプールは幅広い世代の多様なニーズに応えるため、可動床を備えた3種類のプールを設けており、時間帯によって水深を変えることで、世代や目的に応じた遊泳プログラムの提供を可能としている。また、プールの水は隣接する中工場の稼働で生じる熱を利用した温水であるため、通年での遊泳を可能としている。

外装は現代の吉島地区のアイコンとなっている中工場との連続性を保つためにコンクリート打ち放し仕上げを主体とする一方、内装は積極的に木質化を行うことで、かつて貯木場であった同地区の歴史を表現し、暖かみのある空間を演出している。



CPD 認定プログラム (2～3月の広島県内実施分)

2025年1月15日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
2/18～2/18迄	中大規模木造設計セミナー(実現のための手法編)DVD講習	3	広島県建築士会	082-244-6830
2/19～2/19迄	既存住宅状況調査技術者講習(新規)	5	広島県建築士会	082-244-6830
2/20～2/20迄	中大規模木造設計セミナー(木造低コスト化編)DVD講習	4	広島県建築士会	082-244-6830
2/21～2/21迄	第一種電気工事士定期講習(広島市)2/21	6	電気工事技術講習センター	03-5206-2720
2/22～2/22迄	日本建築学会歴史的建築総目録データベースについて—成立の背景、これまでの運用、そして使い方—	3	広島県ヘリテージ協議会	082-244-6830
3/1～3/1迄	ローズアリーナ屋内プール増設工事見学会	2	広島県建築士会福山支部	084-923-4820
3/1～3/1迄	ローズアリーナ屋内プール増設工事見学会	2	広島県建築士会福山支部	084-923-4820
3/11～3/11迄	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
3/13～3/13迄	既存住宅状況調査技術者講習(更新)	2	広島県建築士会	082-244-6830

総合資格学院 令和6年度『合格祝賀式典』が開催されました

会員増強チーム 倉田 まゆみ

2025年1月13日、総合資格学院の令和6年度『合格祝賀式典』がANAクラウンプラザホテルで開催され、広島県建築士会として出席し合格者の皆さんと喜びを分かち合ってきました。

1級、2級建築士、宅建士、施工管理技士の合格出席者が71名、講師、来賓を含め100名以上と盛大な祝賀会の中、合格者の皆さんはとてもしらけずこちらが刺激を受けた次第です。難関突破に対して敬意を表しこれからのさらなる活躍に期待して祝辞を述べ、合わせて建築士会の活動も紹介し建築士として共に活動しましょうと入会をお願いしました。

会員増強チーム及び青年、女性委員会の代表が、建築士会のPRタイム時間において、しっかり勧誘活動を行いました。おかげ様で、祝賀会出席者71名のうち30名もの入会申し込みをいただくことができましたことをご報告致します。建築士会の

会員減少が全国で課題となっている中、大変貴重な人材の入会申し込みはありがたいことです。

入会後のフォローが大変重要だと思いますので各委員会でも若い力と共に活動をしていきたいと思っております。皆さま、ご協力の程よろしくお願い致します。

講師の方の話の中で【決断力】という言葉が出ました。決断したのであれば勉強を迷わず進まないと中途半端で終わります。これは勉強だけではなく社会でも通じますね。

われら建築士会は【決断力】をもとに【結団力】で進みましょう!!



指定確認検査機関(中国地方整備局長指第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登第5号) 登録省工不判定機関(中国地方整備局長登第3号)

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています

Energia
HOUSE PLUS
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
https://www.jutakuhosho.com/

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル
TEL:082-545-5607 FAX:082-545-5608

安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

広島支部女性部会プレゼンツ「インテリアシリーズ」第7回

くさむら
叢 店主 小田康平氏 講演会「叢的植栽の見方」

広島支部女性部会部長
福馬 晶子

突然ですが、年始の番組で、「有吉弘行の故郷に帰らせていただきます。」を見られましたか？そこに広島代表で今を時めく人として登場された叢店主の小田康平さんに、10人限定で2024年12月22日10:00～12:00に叢 Hiroshimaでご講演いただきました。

お話しいただいた小田康平さんの半生記は冒険小説のように楽しく、叢というサボテンを中心にした小田康平さんデザインの植物屋は、ガツンとした腹に一物持っているような世界に1つしかないサボテンが個性豊かに並んでおり豊かな気持ちになりました。



叢 - Qusamura

小田康平さんは、1976年の広島生まれ。北斗の拳で出てくるようなサバイバルな経験をしたと世界中を旅する暮らしを20代の頃始めました。まず、スペインに渡り、サハラ砂漠に渡り、その後訪れたパリでフラワーアーティストがセレクトショップの空間演出を手掛ける様子に感動しました。帰国後、生花と観葉植物による空間デザインに取り組み、数年経って画一的な花や植物での表現に限界を感じ始めていた頃、ある世界的アートコレクターと出会い、納品後に傷ついた植物を見て発した彼の一言、「闘う植物は美しい」に衝撃を受けました。以来、植物選びの基準を、整った美しさから、『いい顔』をしているかどうかに変え、独自の視点で植物を捉えて美しさを見出した一点物の植物を扱うことを決心し、2012年、独自の美しさを提案する植物屋「叢 - Qusamura」をオープンしました。「叢 - Qusamura」の理念は、「いい顔してる植物」をコンセプトに、独自の美しさを提案する植物屋です。店主みずからが日本中を旅して集めた個性あふれる植物を、その個体の特徴を引き出す器とあわせて提案しています。店名は、店主が植物を見つける場所を叢と呼んでいたことから、普通の人にとってはただの草の群がりに見える場所に、個性ある美しさが眠っているところから来ています。『Qusamura』の“Q”は、「Question」からとったもの。個性的な叢の植物たちに出合ったとき「これ、なに？」と、はじめに不思議を感じ、「？」から叢の世界観に入ってほしいという願いを込めています。

なんせ、アグレッシブな小田康平さんが、サボテンのコレクターを飛び込みで訪ねて説得し、その中でもコレクターたちが嫌がる木化（環境に耐えるため肌が木のようにになっているもの）や、白化（暑い日差しを凌ぐため、白い粉を吹いて自衛している状態）しているものなどを好んで1万点の中から1つ選ぶように厳選に厳選を重ねて選ぶため、景色の素晴らしい唯一無二のサボテンです。

また、サボテンを増やす際、強いサボテンを増やしたいサボテンを接木して育てるのですが、通常は根の部分は

見せないようにします。しかし、小田さんは違う。二つの違うサボテンが合体して、現代アートのような姿になっているのです。（ちなみに、ワンピースのキャラクターや椅子を、合体させたサボテンで作っておられ、びっくり。）接木は日本の文化でもあるので、海外での展覧会でも好評を博しました。

また、そのサボテンを名だたる陶工に突撃して説得し、通常なら数十万円の茶碗を作り、水の抜ける陶器を嫌がるのに、喜んで鉢を作ってください、その鉢にサボテンを植え、芸術の域にまでされています。

最高の陶工がそれをされたので、その後はほかの有名な陶工も協力してくれる始末。新たなサボテンと陶器の芸術的コラボができました。

是非叢のお店に行ってみて実際に植物を体感し、インテリアに迎えてください。

また、建築の外構の造園も勿論やっておられ、建築物に合わせ、日本の気候に最適な手のかからない、植物の生長を見越してかつ芸術的に植物を配置しておられるとのこと。ぜひ皆さん造園を叢さんに発注していただければと思います。



叢のロゴが毎年成長していた時期もあったそう。



手品のように開くドア。なんでも設計されます。

有名建築見学記

TOYAMA キラリ(富山市ガラス美術館・富山市図書館本館等)

広島支部 梶川 彰彦

私は旅に出て時間的に余裕があると、できるだけその地域の有名建築物（文化財）や有名建築家の作品を見学してありますが、最近見学したものの中で特に印象に残った富山市の再開発ビル「TOYAMA キラリ」を紹介します。

設計は、隈研吾氏やRIA等の設計集団です。

まず外観ですが、パッチワークのような景観に目を奪われました。富山の主要産業であるアルミとガラスに、御影石（建替前にあった銀行の外壁に使われていた）の三つの素材を用いた縦長パネル約1,000枚を組み合わせ、縦ラインを強調した独特の景観を創出していました。

鉄骨造の地下1階地上10階建て、2～6階に美術館と図書館が配され、それ以外の階は銀行の店舗（1階）と事務所（7～10階）、駐車場（B1階）の用途構成です。

中に入って驚いたのは、2～6階は上に行くにつれ南側に斜めにズレる大きな吹抜けがあり、開放的な空間を形成していて、その吹抜け周りのルーバーや天井材は全て杉板が使われていたことです。

今まで建物の上階をセットバックさせて屋上利用による開放的な空間を形成した事例はいくつか見てきましたが、屋内での事例は初体験でした。

疑問点として、吹抜け部分に防火シャッターが見当たらないなど縦穴区画や内装制限等の法的な問題がクリア



できているのかが気になりました。（後で調べたところでは、避難安全検証法により縦穴区画規定を適用除外にする）と共に、杉板は大臣認定を受けた不燃材を用いることなどで問題解決したようです。）

各階吹抜けの北側に図書館、南側に美術館が配されており、美術館の展示スペースの大半もガラス張りであるなど、各階ともオープンで図書館と美術館相互に複数階が見渡せ、入場料が必要なエリア以外は自由に利用できる造りとなっていました。

吹抜けを取り囲む杉板ルーバーは温かみがあって感じよく、それに沿って設置されたパソコンコーナー（11席）や多数のテーブル・椅子も多く、私も居心地の良さを感じました。

右の写真は、トイレやベビーシートなどのサインです。鉄パイプを曲げてつくったこの館オリジナルのサインで、隈研吾事務所がデザインしたものだそうです。

最後にガラス美術館についてですが、世界的に有名な作家の作品が多数揃えられ、色彩豊かで大規模なものもいくつかあって、とても見応えがありました。

北陸新幹線の延伸で富山を訪れる人も増えているようです。機会があれば是非行ってみてください。




 建築確認・検査


 構造計算
 適合性判定

**「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します**


 設計
 性能評価


 定期報告

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務

- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務（フラット35）
- 調査診断業務
(適法性調査、定期報告等)

- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) 評価業務

12条点検は弊社におまかせください



株式会社 **ジェイ・イー・サポート**

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail : mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
 TEL : 082-836-3300 FAX : 082-228-8201
 東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F
 福岡支店：福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F